

令和3年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法概論Ⅱ		講義	鮫島 一雄	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>次年度の臨床実習を目前にして、今までの単なる知識の詰め込みだけでは、実際の臨床実習では不十分である。この授業では、臨床実習に必要なPT学生としての資質・知識面および問題解決能力の向上を目的とする。そのため、今までの記憶が中心であった授業でなく、基本的な知識をすでに習得しているという前提で、小テスト・口頭試問を随時行っていく。</p>				
授業の到達目標				
<p>・理学療法用語を理解する ・理学療法過程を理解する ・理学療法過程に沿って考えられる ・臨床推論を理解する ・ガイドライン、クリニカルパスを理解する ・SOAPを理解する ・電子カルテと紙カルテの違いを知る ・診療報酬制度の概略を理解する</p>				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 理学療法業務（理学療法士ができること）について			
2	理学療法過程1(PDCA とEPDCAサイクル、クリニカルリーズニング)			
3	理学療法過程2（情報収集）			
4	理学療法過程3(患者の問題点の抽出)(医師からの指示・処方箋)			
5	理学療法過程4(情報の解釈/統合と解釈)			
6	ロートンモデル			
7	評価の視点について			
8	ボトムアップからトップダウンへ			
9	臨床推論			
10	主訴・要望・ニーズ ホープ 理学療法目標			
11	エビデンス ガイドライン クリニカルパス			
12	社会保障とは 保険診療とは			
13	診療報酬 診療記録について 診療記録の書き方 電子カルテと紙カルテ			
14	POSとPOMRについてSOAPの意味と内容			
15	SOAP演習 授業まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	60点以上が合格 試験内容は、小テストに準じる。		
レポート				
小テスト		授業中に数回実施する		
平常点		授業への出席状況と授業態度等		
その他				
自由記載	小テストと平常点で70点以上の場合は、定期試験を免除する			
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
理学療法概論テキスト	監修 細田多穂	南江堂		
理学療法概論ⅠⅡ27期生資料（1年次配布分）	担当教員作成分			
理学療法概論Ⅱ27期生資料（2年次配布分）	担当教員作成分			
自由記載	必要に応じてプリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
各自で必要と思う辞書（英和辞典、等）				
自由記載				
備考				